

国際ジオシンセティックス会議 参加ツアー旅行記

三井化学産資(株) 平 井 貴 雄

IGS 日本支部で企画した昨年 9 月に行われた国際ジオシンセティックス会議(7thICG-Nice2002)への参加ツアーは当初の予定を上回り、40 名を超える方々にご参加いただきました。パリからニースへ向かう国内線が混みあっていたことや会議前後の行動予定がばらばらであったため、いくつかのグループに分かれての旅程となりました。20 名程度が同行した 9 月 21 日出発のグループは、21 日午後に成田を出発し、パリへ向かいました。パリでは、乗り継ぎの時間がほとんどなかったダッシュ組と 3 時間以上空港内で待たされニース到着が真夜中になった組とに別れました。この辺からが波乱の始まりです。ニースでも何かあるかなと思いきや到着早々荷物が届かない方が・・・といった具合のスタートでした。

ホテルも同じ場所を予約することができず空港近辺のホテルと町の中のホテルに分かれての宿泊となりました。空港近くのホテルは会議会場までかなり遠かったので皆様にはかなり不便をおかけしました。本紙面を借りてお詫びいたします。

22 日から 27 日の会議開催中は、会議スケジュールはかなりハードなものでしたが、空き間を有効に活用し、ニース周辺、近隣のモナコ、カンヌ、ちょっと足を伸ばして南仏各都市の水道橋や城壁などの古い建築技術を見学に行かれた方もいらっしやったことと思います。下の写真はニース東部の城跡公園から見たニースの街並みです。世界的に有名な観光地だけあって、その景観のすばらしさやゲストを迎える町の雰囲気は十分満足できる場所でした。もう一度完全な休暇で行ってみたいところです。

最後に、2006 年に横浜で開催する第 8 回国際ジオシンセティックス会議(8ICG-Yokohama2006)も参加される方々に、ニースに負けない環境と実のある会議を提供できるように努力したいと思います。



東部の城跡公園から見たニースの街並み